

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2135 号

Hand eczema as a risk factor for food allergy among occupational kitchen workers

(調理従事者における手湿疹と食物アレルギーリスクの疫学的な関係)

南 崇史 (みなみ たかふみ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、調理従事者における手湿疹と食物アレルギー発症のリスクに関する疫学研究である。近年、成人の食物アレルギーにおいて経皮感作による食物アレルギー発症に関する多数の症例報告がなされている。特に調理師などの調理従事者における職業性の手湿疹が成人食物アレルギーを発症していることを示唆する報告を認めている。しかしながら、手湿疹と成人の食物アレルギーとの関係性における疫学的な研究はされていない。我々は、手湿疹と成人の食物アレルギー発症のリスクとの疫学的な関係を明らかにすることを目的とし、手湿疹を介した食物アレルギー発症のリスクが高いと考えられた職業性調理従事者と比較的风险が低いと考えられた非職業性調理従事者を対象に、手湿疹の有無と重症度、食物アレルギーの有無などについてウェブを介した質問票調査を行った。結果としては、職業性調理従事者は、非職業性調理従事者よりも現在の手湿疹を有するものが多く、食物アレルギーと診断されているものも多かった。職業性調理従事者において、現在の手湿疹を有する場合には、食物アレルギーの発症リスクが増加することが示された。また個別の食物におけるアレルギー症状と手湿疹の関係性を評価した結果、職業性調理従事者では、手湿疹の重症度とアレルギー症状の発症リスクの上昇とにおいて有意な傾向を認めており、職業的な要因により経皮感作が生じている可能性が考えられた。我々の知る限りでは、本論文は、成人食物アレルギーにおける手湿疹の重要性を初めて明確に疫学研究において示した研究である。特にアレルギーや産業医学の領域における世界的な公衆衛生上の重大な問題を明らかにした点で重要である。よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。